おひさまだより

2025.2 月号

給食中に、お子様方が、ネットゲームの話をしていると担任から聞きました。デジタルの教科書が導入されるかもしれない現代には、デジタル機器と「うまく賢くつきあう」ための知恵が必要です。お子様がネットゲームで遊び始める時、いつ、誰と（オンラインゲームでは知らない人とつながらない）、使用時間のルールを作りましょう。また、お子様が「自分のルール」であることを意識するには、「ルール作りから」参加することが大切です。子どもたちが将来、いえ、近い将来、「ゲーム依存症」にならないよう、注意が必要です。

みんなで鍵盤ハーモニカを楽しんでいます！

先日、全園児が参加して、ホールで鍵盤発表会を行いました。７月のファミリーコンサートでも歌や合奏を演奏しましたが、お子様方は、学年を超えて教え合い、聞かせ合ったりしながら、お互いの演奏に大きな拍手を送りました。

鍵盤ハーモニカは、お子様方にとって「自分で楽しめるおもちゃ」です。息を吹き入れ、鍵盤を押すと、いろいろな音が出るのですから、その仕組みさえわかれば、一人で楽しめます。園での鍵盤ハーモニカとの最初の出会いは、ミュージカル「サウンドオブミュージック」の「どれみのうた」です。歌うことで「ドレミファソラシド」の階名を覚えられます。次は、手遊びでおなじみの「ひげじいさん」です。「ドドドド ≋≋ レレレレ≋≋ 」と、息と指が合うことでリズムと旋律が生まれることがわかっていきます。２歳児さんは、自分の息が音になることを思う存分楽しみます。

階名でメロディを覚え歌うことができると、どんどん吹けるようになるのが鍵盤ハーモニカの良いところです。中島みゆきの「糸」を吹きたいと伝えてくれた年長さんがいました。「ミーミミミレドラソミミー♪」と最初のフレーズを階名で伝えると、１０分ほどで吹けるようになりました。メロディは、「ことば」と一緒で耳から覚えるので、口ずさむことで吹けるようになります。鍵盤ハーモニカは小学校でも演奏します。感情の発露として音楽の翼がさらに広がることを祈っています。（保護者会では、鍵盤発表会の DVD を少しだけご覧いただきます）

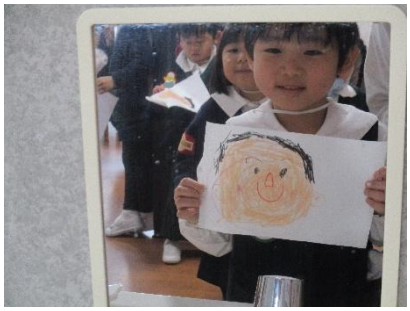
２歳児(鍵盤)と 0,1 歳(鈴)のアンサンブル！

卒園をお祝いする会「私は○小学校へいきます」

年少さん腕をグルンと回してジャンプ！すごい！

年長さんともも組さん「いっしょにあそぼう！」

年中さん「思い出の表紙」自画像を描きました



ひらがな大好き　上手に書けた！

©2025 幼保連携型認定こども園うわまち幼稚園園長　嶋田むつみ